

#2  
jc979 U.S. PTO  
10/022992  
12/17/01

IN THE UNITED STATES PATENT AND TRADEMARK OFFICE

In the application of:

Yasushi KURAKAKE, et al.

Serial No.: Not yet assigned

Filing Date: Concurrently herewith

For: METHOD OF SEARCHING  
INFORMATION SITE BY ITEM  
KEYWORD AND ACTION KEYWORD

Examiner: Not yet assigned

Group Art Unit: Not yet assigned

TRANSMITTAL OF PRIORITY DOCUMENT

Box Patent Application  
Assistant Commissioner for Patents  
Washington, D.C. 20231

Dear Sir:

Enclosed herewith is a certified copy of Japanese Patent Application No. 2000-383853 filed December 18, 2000, from which priority is claimed under 35 U.S.C. 119 and Rule 55b.

Acknowledgement of the priority document is respectfully requested to ensure that the subject information appears on the printed patent.

Dated: December 17, 2001

Respectfully submitted,

By: David L. Fehrman

David L. Fehrman  
Registration No. 28,600

Morrison & Foerster LLP  
555 West Fifth Street  
Suite 3500  
Los Angeles, California 90013-1024  
Telephone: (213) 892-5601  
Facsimile: (213) 892-5454

日本国特許庁  
JAPAN PATENT OFFICE

4757/45  
Jc979 U.S. PTO  
10/022992  
12/17/01

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されて  
いる事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed  
with this Office

出願年月日  
Date of Application:

2000年12月18日

出願番号  
Application Number:

特願2000-383853

出願人  
Applicant(s):

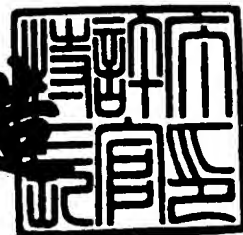
ヤマハ株式会社

CERTIFIED COPY OF  
PRIORITY DOCUMENT

2001年 8月24日

特許庁長官  
Commissioner,  
Japan Patent Office

及川耕造



【書類名】 特許願

【整理番号】 P83515-15

【提出日】 平成12年12月18日

【あて先】 特許庁長官 殿

【国際特許分類】 H04L 12/00

【発明の名称】 情報検索方法及び情報記憶媒体

【請求項の数】 7

【発明者】

    【住所又は居所】 静岡県浜松市中沢町10番1号 ヤマハ株式会社内

    【氏名】 鞍掛 靖

【発明者】

    【住所又は居所】 静岡県浜松市中沢町10番1号 ヤマハ株式会社内

    【氏名】 堀 光生

【特許出願人】

    【識別番号】 000004075

    【氏名又は名称】 ヤマハ株式会社

【代理人】

    【識別番号】 100060690

    【弁理士】

    【氏名又は名称】 瀧野 秀雄

    【電話番号】 03-5421-2331

【手数料の表示】

    【予納台帳番号】 012450

    【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

    【物件名】 明細書 1

    【物件名】 図面 1

    【物件名】 要約書 1

    【包括委任状番号】 9004721

特 2000-383853

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 情報検索方法及び情報記憶媒体

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 クライアントと複数の情報サイト及び検索サイトが接続されるネットワークで該クライアントが該情報サイトの内容情報を検索する情報検索方法であって、

前記クライアントが所望に応じて容情報を示す種類キーワードと該内容情報に対する行為に対応する行為キーワードとを前記検索サイトに送信し、

該検索サイトが、前記送信された種類キーワードが示す内容情報と前記行為キーワードに対応する行為とに合った内容情報を有する情報サイトを検索して、該検索された情報サイトを示すサイト情報を前記クライアントに送信し、

該クライアントが、該送信されたサイト情報に基づいて対応する情報サイトの内容情報を検索できるようにしたことを特徴とする情報検索方法。

【請求項 2】 ネットワーク上の複数の情報サイトを示すサイト情報を、該情報サイトの内容情報を示す種類キーワードと、該情報サイトの内容情報に対する行為に対応する行為キーワードとに対応させて、該サイト情報、種類キーワード及び行為キーワードを検索サイトに記憶しておき、

前記ネットワークに接続されるクライアントが所望に応じて容情報を示す種類キーワードと該内容情報に対する行為に対応する行為キーワードとを前記検索サイトに送信し、

前記検索サイトが、前記送信された種類キーワードと行為キーワードとに対応するサイト情報を検索して、該検索された情報サイトを示すサイト情報を前記クライアントに送信し、

該クライアントが、該送信されたサイト情報に基づいて対応する情報サイトの内容情報を検索できるようにしたことを特徴とする情報検索方法。

【請求項 3】 クライアントと複数の情報サイト及び検索サイトが接続されるネットワークで検索サイトが情報サイトのサイト情報を検索する情報検索方法であって、

前記検索サイトが、クライアントから送信された種類キーワードが示す内容情

報と行為キーワードに対応する行為とに合った内容情報を有する情報サイトを検索して、該検索された情報サイトを示すサイト情報を前記クライアントに送信することを特徴とする情報検索方法。

【請求項4】 検索サイトで、ネットワーク上の複数の情報サイトを示すサイト情報を、該情報サイトの内容情報を示す種類キーワードと、該情報サイトの内容情報に対する行為に対応する行為キーワードとに対応させて、該サイト情報、種類キーワード及び行為キーワードを検索サイトに記憶しておき、

前記検索サイトが、クライアントから送信された種類キーワードと行為キーワードとに対応するサイト情報を検索して、該検索された情報サイトを示すサイト情報を前記クライアントに送信することを特徴とする情報検索方法。

【請求項5】 クライアントと複数の情報サイト及び検索サイトが接続されるネットワークで該クライアントが該情報サイトの内容情報を検索する情報検索方法であって、

前記クライアントが、前記検索サイトにサイト情報を検索させるために、所望に応じて容情報を示す種類キーワードと該内容情報に対する行為に対応する行為キーワードとを前記検索サイトに送信し、該検索サイトから送信されたサイト情報に基づいて情報サイトの内容情報を検索することを特徴とする情報検索方法。

【請求項6】 前記クライアント側において、前記検索サイトに送信する前記種類キーワードと行為キーワードとを、該種類キーワードと行為キーワードにより構成される文章として入力するようにしたことを特徴とする請求項1または2または5記載の情報検索方法。

【請求項7】 ネットワーク上の複数の情報サイトを示すサイト情報を、該情報サイトの内容情報を示す種類キーワードと、該情報サイトの内容情報に対する行為に対応する行為キーワードとに対応させて、該サイト情報、種類キーワード及び行為キーワードを記憶したことを特徴とする情報記憶媒体。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、ネットワークを利用して、該ネットワークに接続される端末機等の

クライアントにより検索サイト（サーバ）を介して情報サイト（サーバ）の内容情報を検索する情報検索方法、及び、該情報検索方法に用いる情報記憶媒体に関する。

#### 【0002】

##### 【従来の技術】

近年、パソコンや携帯電話などの各種端末機により例えばインターネット等のネットワークの利用が進み、これらの端末機を使用するユーザは情報サイトを検索して各種の情報を得ることができる。例えば、ユーザがパソコン（クライアント）を検索サイト（サーバ）に接続し、ユーザが、所望の情報に対応するキーワードを送信することにより、検索サイトはキーワードに応じた情報を有する情報サイト（サーバ）を検索し、そのサイト情報（URL等）をクライアント側のユーザに提供することができる。また、このような検索を行うためのキーワードは一般的に名詞であり、複数のキーワードを組み合わせてアンド検索をすることもできた。

#### 【0003】

##### 【発明が解決しようとする課題】

ところで、ユーザが情報検索を行う目的はさまざまであり、従来のような名詞のキーワードの組合せによる検索だけでは、ユーザの目的に合わない情報までも検索されることが多い。このため、ユーザはこれらの情報から目的に合った情報を選び出す作業を必要としており、使い勝手の点で不十分であった。

#### 【0004】

本発明は、できるだけクライアント側のユーザの目的に合った情報を検索できるようにして、使い勝手のよい情報検索方法を提供することを課題とする。

#### 【0005】

##### 【課題を解決するための手段】

本発明の請求項1の情報検索方法は、クライアントと複数の情報サイト及び検索サイトが接続されるネットワークで該クライアントが該情報サイトの内容情報を検索する情報検索方法であって、前記クライアントが所望に応じて容情報を示す種類キーワードと該内容情報に対する行為に対応する行為キーワードとを前記

検索サイトに送信し、該検索サイトが、前記送信された種類キーワードが示す内容情報と前記行為キーワードに対応する行為とに合った内容情報を有する情報サイトを検索して、該検索された情報サイトを示すサイト情報を前記クライアントに送信し、該クライアントが、該送信されたサイト情報に基づいて対応する情報サイトの内容情報を検索できるようにしたことを特徴とする。

## 【0006】

上記のように構成された請求項1の情報検索方法において、例えば商品Aを示す「商品A」という種類キーワードと、例えば該商品Aを購入するという行為に対応する「購入したい」という行為キーワードとを検索サイトに送信する。検索サイトは、「商品A」という種類キーワードと「購入したい」という行為キーワードに対応する行為に合った内容情報（例えば「あるクライアントが商品Aを販売する」という情報）を有する情報サイトを検索する。そして、該検索された情報サイト（複数でもよい）を示すサイト情報（複数でもよい）をクライアントに送信する。そして、クライアントはこのサイト情報に基づいて対応する情報サイトの内容情報を検索できる。したがって、できるだけクライアント側のユーザの目的に合った情報を検索でき、使い勝手がよい。

## 【0007】

本発明の請求項2の情報検索方法は、ネットワーク上の複数の情報サイトを示すサイト情報を、該情報サイトの内容情報を示す種類キーワードと、該情報サイトの内容情報に対する行為に対応する行為キーワードとに対応させて、該サイト情報、種類キーワード及び行為キーワードを検索サイトに記憶しておき、前記ネットワークに接続されるクライアントが所望に応じて容情報を示す種類キーワードと該内容情報に対する行為に対応する行為キーワードとを前記検索サイトに送信し、前記検索サイトが、前記送信された種類キーワードと行為キーワードとに対応するサイト情報を検索して、該検索された情報サイトを示すサイト情報を前記クライアントに送信し、該クライアントが、該送信されたサイト情報に基づいて対応する情報サイトの内容情報を検索できるようにしたことを特徴とする。

## 【0008】

上記のように構成された請求項2の情報検索方法によれば請求項1と同様な作



用効果が得られる。

【 0 0 0 9 】

本発明の請求項3の情報検索方法は、クライアントと複数の情報サイト及び検索サイトが接続されるネットワークで検索サイトが情報サイトのサイト情報を検索する情報検索方法であって、前記検索サイトが、クライアントから送信された種類キーワードが示す内容情報と行為キーワードに対応する行為とに合った内容情報を有する情報サイトを検索して、該検索された情報サイトを示すサイト情報を前記クライアントに送信することを特徴とする。

【 0 0 1 0 】

上記のように構成された請求項3の情報検索方法によれば、クライアントから種類キーワードと行為キーワードを送信させることにより、請求項1と同様な作用効果が得られる。

【 0 0 1 1 】

本発明の請求項4の情報検索方法は、検索サイトで、ネットワーク上の複数の情報サイトを示すサイト情報を、該情報サイトの内容情報を示す種類キーワードと、該情報サイトの内容情報に対する行為に対応する行為キーワードとに対応させて、該サイト情報、種類キーワード及び行為キーワードを検索サイトに記憶しておき、前記検索サイトが、クライアントから送信された種類キーワードと行為キーワードとに対応するサイト情報を検索して、該検索された情報サイトを示すサイト情報を前記クライアントに送信することを特徴とする。

【 0 0 1 2 】

上記のように構成された請求項4の情報検索方法によれば、クライアントから種類キーワードと行為キーワードを送信させることにより、請求項1と同様な作用効果が得られる。

【 0 0 1 3 】

本発明の請求項5の情報検索方法は、クライアントと複数の情報サイト及び検索サイトが接続されるネットワークで該クライアントが該情報サイトの内容情報を検索する情報検索方法であって、前記クライアントが、前記検索サイトにサイト情報を検索させるために、所望に応じて容情報を示す種類キーワードと該内容

情報に対する行為に対応する行為キーワードとを前記検索サイトに送信し、該検索サイトから送信されたサイト情報に基づいて情報サイトの内容情報を検索することを特徴とする。

## 【 0 0 1 4 】

上記のように構成された請求項 5 の情報検索方法によれば、検索サイトで種類キーワードと行為キーワードとに基づいてサイト情報を検索させることにより、請求項 1 と同様な作用効果が得られる。

## 【 0 0 1 5 】

本発明の請求項 6 の情報検索方法は、請求項 1 または 2 または 5 の構成を備え、前記クライアント側において、前記検索サイトに送信する前記種類キーワードと行為キーワードとを、該種類キーワードと行為キーワードにより構成される文章として入力するようにしたことを特徴とする。

## 【 0 0 1 6 】

上記のように構成された請求項 6 の情報検索方法によれば、請求項 1、請求項 2 及び請求項 5 と同様な作用効果が得られるとともに、種類キーワードと行為キーワードを文章として入力できるので、クライアント側のユーザは目的を表現しやすく、さらに使い勝手がよくなる。

## 【 0 0 1 7 】

本発明の請求項 7 の情報記憶媒体は、ネットワーク上の複数の情報サイトを示すサイト情報を、該情報サイトの内容情報を示す種類キーワードと、該情報サイトの内容情報に対する行為に対応する行為キーワードとに対応させて、該サイト情報、種類キーワード及び行為キーワードを記憶したことを特徴とする。

## 【 0 0 1 8 】

上記のように構成された請求項 7 の情報記憶媒体によれば、この情報記憶媒体を用いることにより、請求項 1 または請求項 2 の情報検索方法を好適に実施できる。

## 【 0 0 1 9 】

## 【発明の実施の形態】

本発明の一実施形態を図面を参照して説明する。図 3 は本発明の実施形態の情

報検索方法を適用するネットワークシステムの構成例を示す図である。通信ネットワーク 1 には、クライアントとしてのパソコン端末  $2_1 \sim 2_n$ 、クライアントに対するサーバとしての複数の情報サイト  $3_1 \sim 3_n$  及び検索サイト 4 が接続される。また、情報サイト  $3_n$  及び検索サイト 4 には中継サーバ  $5_1, 5_2$  がそれぞれ接続され、クライアントとしての携帯端末（例えば携帯電話） $2_i$  が無線通信により、情報サイト  $3_1 \sim 3_n$  及び検索サイト 4 と接続される。

## 【 0 0 2 0 】

通信ネットワーク 1、中継サーバ  $5_1, 5_2$  等で構成されるネットワークは、例えば周知のように WWW (HTTP) 等のインターネットプロトコルの基に多数のプロバイダにより、情報サイト  $3_1 \sim 3_n$  及び検索サイト 4 等の多数のサーバと、パソコン端末  $2_1 \sim 2_n$  及び携帯端末  $2_i$  等の多数のクライアントとがネットワークを形成しているものである。

## 【 0 0 2 1 】

なお、検索サイト 4 は複数接続されていてもよいが、この場合、各検索サイトは同等と考えることができるので、実施形態では一つの検索サイト 4 について説明する。また、パソコン端末  $2_1 \sim 2_n$  及び携帯端末  $2_i$  の複数のクライアントを図示したが、これらのクライアントは情報サイト  $3_1 \sim 3_n$  及び検索サイト 4 に対して同様な処理を独立に行うので、以下の説明では、これらの任意の 1 つを「クライアント 2」として説明する。また、符号の添え字は、同種のを個々に区別するものであるが、個々に区別しないで任意のものを示すときはこの添え字は省略して説明する。

## 【 0 0 2 2 】

検索サイト 4 は、検索対象の「サイト情報」を複数記憶しており、この実施形態では、「サイト情報」とはネットワーク上に存在する複数の情報サイト  $3_1 \sim 3_n$  のいずれかを指示する URL (uniform resource locator) である。また、この URL には、それぞれの URL が指示する情報サイト 3 の内容に相応しいキーワードが対応付けて記憶されている。この対応付けられているキーワードは複数あり、「種類キーワード」と「行為キーワード」が必ず含まれている。キーワードの内容は予め用意された言葉（単語）の何れかであり、以下の実施形態では

「種類キーワード」を「ジャンルキーワード」、「行為キーワード」を「目的キーワード」とする。

【0023】

すなわち、検索サイト4のデータベース等の情報記憶媒体には、ネットワーク上の複数の情報サイト $3_1 \sim 3_n$ を示す各URLが、情報サイト $3_1 \sim 3_n$ の内容情報を示すジャンルキーワードと、情報サイトの内容情報に対する行為に対応する目的キーワードとに対応させて、それぞれ記憶されている。

【0024】

ジャンルキーワードとは、情報サイト3が提供している情報内容（例えば商品（サービス等も含む）の種類等）を名詞で表した単語である。具体的には、自然楽器、電子楽器、DTM、コンサート、アーティスト、楽譜、CD、ネット配信、MIDI、着メロ、カラオケ、などがある。なお、「DTM」はデスクトップミュージックソフト、「アーティスト」はそのアーティストの楽曲ソフトやコンサート等、「ネット配信」「MIDI」は演奏データやカラオケソフトあるいはプログラムなどの各種配信情報であり、商品（サービス等も含む）の種類を表している。

【0025】

目的キーワードとは、情報サイト3がどのような行為に相当する情報を提供しているか、あるいは、その情報サイト3で行える行為（あるいは処理）を、動詞で表した単語であり、内容情報に対してクライアント2側のユーザ（以後、単に「ユーザ」という。）が行いたい行為を表すキーワードである。具体的には、調べたい、買いたい、売りたい、教えたい、習いたい、借りたい、歌いたい、聴きたい、などがある。

【0026】

すなわち、上記の例では、例えば目的キーワード「買いたい」はユーザの“買う”という行為に対応し、目的キーワード「売りたい」は“売る”という行為に対応している。また、目的キーワード「教えたい」は“教える”という行為に対応し、目的キーワード「習いたい」は“習う”という行為に対応している。すなわち、この実施形態における「行為キーワード」は、情報を得ようとするクライ

アント2の目的（行為）に直接対応しているので、「目的キーワード」と称している。

【0027】

ここで、「商品Aを売りたい」という目的を持っている第1ユーザが最終的に情報サイトから得ようとする情報は、「商品Aを売りたい」という目的を持っている他の第2ユーザ（複数でもよい）の情報である。そこでこのような場合に対応させるため、この実施形態では、検索サイト4がURL及びジャンルキーワードと共に記憶している目的キーワードとしては、第1ユーザの“買いたい”という行為に合うように、第2ユーザの“売りたい”という行為に対して「買いたい」という目的キーワードを対応させるようにしている。

【0028】

したがって、この実施形態では、第2ユーザが「商品Aを売りたい」という情報を特定の情報サイトに登録している場合、検索サイト4には、その特定の情報サイトのURL、「商品A」というジャンルキーワード、及び、「買いたい」という目的キーワードが、それぞれ対応付けられてデータベースに記憶されている。このことは、他の行為と目的キーワードについても同様な対応関係となっている。

【0029】

ただし、このことは、検索条件に応じて予め決められた一つの対応関係にすぎず、情報を得ようとするユーザ（クライアント）の行為に対応する行為キーワードと、情報を提供したいユーザの行為に対応する行為キーワードとを、それぞれ対応付けて用いるようにしてもよい。すなわち、検索サイトにおける検索時に対応関係を考慮して、種類キーワードが示す内容情報と行為キーワードに対応する行為とに合った内容情報を持つ情報サイトを検索できれば、上記対応関係（すなわち行為キーワードの決め方）はどのようなものでもよい。

【0030】

例えば前記の例で、検索サイト4のデータベースに、特定の情報サイトのURL、「商品A」、及び、「売りたい」を対応付けて記憶しておき、「買いたい」という目的キーワードに対応するようなキーワードとして「売りたい」を検出す

るようにして、検索を行うようにしてもよい。

【0031】

クライアント2は、情報サイト3から情報を取得できるものであればどのような形態でもよく、このクライアント2が検索サイト4及び情報サイト3の情報を利用する方法は、従来から知られているインターネット用ブラウザを用いる方法である。そして、検索サイト4にアクセスしてユーザの望む情報を提供している情報サイト3のURLを検索取得し、その取得した情報（URL）を利用して情報サイト3にアクセスして希望の情報を得る。なお、情報サイト3は、クライアント2に提示する各種の情報（HTMLで作成された複数のWWWページのソース）を記憶しており、クライアント2からの要求（アクセス）に対応するソースをクライアント2に返送する。

【0032】

図7はクライアント2のパソコン端末のハードウェア構成を示すものであり、操作子は、パソコンに接続されたマウスやキーボードなどである。この操作子は特殊なスイッチや電子楽器など、操作入力できるものであればどのようなものでもよい。なお、検索サイト4及び情報サイト3におけるハードウェア構成、あるいはクライアント2としての携帯端末のハードウェア構成は、図7とほぼ同様であるので図示を省略するが、検索サイト4では、RAM、ROM、外部記憶装置などに、情報サイト3を指示するためのサイト情報（URL及びキーワード）を複数記憶している。このサイト情報には、予め記憶されているものと、クライアント2から追加（登録）されたものとがある。また、情報サイト3では、RAM、ROM、外部記憶装置などに、クライアント2に提供する各種の情報を記録している。この各種の情報とは、HTTPで送信されるHTML形式で作成された複数のWWWページのソース（ページ表示情報）などである。さらに、携帯端末では、通信インターフェイスは無線通信用の装置となり、操作子は携帯端末に装備された各種のスイッチなどである。

【0033】

次に、実施形態における検索処理及び登録処理について説明する。検索処理では検索画面を、登録処理では登録画面を用いるが、これらの画面は、例えばHT

MLファイルの検索ページ（Webページ）の検索画面情報及び登録ページ（Webページ）の登録画面情報を、検索サイト4からクライアント2にそれぞれ配信することで、クライアント2の例えばパソコンのディスプレイ（表示装置）に表示される。なお、これらの画面での入力処理にはマウスを用いる場合について説明するが、マウスのポインタ（カーソル）を画面上にセットしてマウスをクリックすることを、「マウスでクリックする」あるいは単に「クリックする」という。

#### 【0034】

図4は検索時のクライアント2、検索サイト4及び情報サイト3の処理を示す図である。まず、クライアント2が検索サイト4の検索ページにアクセスする（ステップS1）。これに応答して、検索サイト4は検索ページを表示させるための検索画面情報をクライアント2に送信する（ステップS2）。そして、クライアント2は受信した検索画面情報に基づいて検索画面を表示する（ステップS3）。この検索画面はクライアント2のユーザにキーワードの選択を促すような画面となる。次に、後述する検索画面の目的別検索エリアでジャンルキーワードと目的キーワードを選択し（ステップS4）、検索の開始を指示する（ステップS5）。これにより、選択されたジャンルキーワードと目的キーワードが検索サイト4に送信される。

#### 【0035】

検索サイト4では、受信したジャンルキーワードと目的キーワードを含む情報（情報サイトのURL）をデータベースから検索し、検索した情報をリスト化したリスト情報を作成し、それをクライアント2に送信する（ステップS6）。クライアント2では、受信したリスト情報に基づいて検索結果（リスト）を表示し（ステップS7）、表示されたリストから所望のURLを選択し、そのURLに対応する情報サイトの所望の内容情報をアクセスする（ステップS8）。これにより、クライアント2は所望の情報を有する情報サイト3に接続することができる。情報サイト3は、クライアント2からの要求に応じて画面情報を送信し（ステップS9）、クライアント2では、受信した画面情報に基づいて情報を表示する（ステップS10）。

## 【 0 0 3 6 】

図 2 は検索画面の表示例を示す図であり、検索画面には、文字列検索エリア E 1、本発明の実施形態に対応して設けられた目的別検索エリア E 2、検索結果の情報を表示する検索結果表示エリア E 3、及び、検索開始を指示する検索開始ボタン（マウスでクリックする画面スイッチ） S W 1 が表示される。文字列検索エリア E 1 は、従来同様の入力文字列を使った検索を行うための任意の文字列を入力するエリアである。この入力文字列を使った検索動作については従来と同様であるためここでは割愛する。

## 【 0 0 3 7 】

図 1 は目的別検索エリア E 2 の表示例を示す図であり、この目的別検索エリア E 2 には、ジャンル選択エリア E 2 1 と目的選択エリア E 2 2 が表示され、これらのエリアの横にはダウンスイッチ（画面スイッチ） S W 2 1 a, S W 2 2 a が表示される。そして、ダウンスイッチ S W 2 1 a をクリックすると、ジャンル選択エリア E 2 1 の下に予め用意されている複数のジャンルキーワードとリスト表示したリストボックスが表示され、そのリストボックス内のリストからジャンルキーワードを選択（クリック）すると、その選択されたジャンルキーワードがジャンル選択エリア E 2 1 内に表示される。図の例では「電子楽器」というジャンルキーワードが選択されている。また、同様にダウンスイッチ S W 2 2 a をクリックすると、目的選択エリア E 2 2 の下に予め用意されている複数の目的キーワードをリスト表示したリストボックスが表示され、そのリストボックス内のリストから目的キーワードを選択（クリック）すると、その選択された目的キーワードが目的選択エリア E 2 2 内に表示される。図の例では「買いたい」という目的キーワードが選択されている。これは図 4 のステップ S 3 とステップ S 4 の動作に相当する。

## 【 0 0 3 8 】

ダウンスイッチ S W 2 1 a と目的選択エリア E 2 2 の間には「を」の文字が表示されており、上記のようにジャンルキーワードと目的キーワードを選択するとき、ジャンル選択エリア E 2 1 の表示内容と目的選択エリア E 2 2 の表示内容により構成される、「～を～」（図の例では「電子楽器を買いたい」）という文章



として入力することができる。したがって、ユーザは入力操作で目的を表現しやすく、きわめて操作しやすい。

#### 【0039】

以上のようにジャンルキーワードと目的キーワードを選択すると、図2に示した検索開始ボタンSW1をクリックすると、選択されたジャンルキーワードと目的キーワードが検索サイト4に送信される（図4のステップS5の動作に相当）。そして、前記のように検索サイト4でジャンルキーワードと目的キーワードに基づいて情報サイトのURLが検索され、検索結果（リスト）が送信されてくるので（図4のステップS6の動作に相当）、その検索結果が検索結果表示エリアE3に表示される（図4のステップS7の動作に相当）。

#### 【0040】

図6はユーザが検索サイトに新たなサイト情報を登録する時（登録時）のクライアント2と検索サイト4の処理を示す図である。まず、クライアント2が検索サイト4の登録ページにアクセスする（ステップS11）。これに応答して、検索サイト4は登録ページを表示させるための登録画面情報をクライアント2に送信し（ステップS12）、クライアント2は受信した登録画面情報に基づいて後述する登録画面を表示する（ステップS13）。次に、クライアント2は登録画面に対して登録したい情報（サイト情報に含ませるURL）を入力し（ステップS14）、さらに、この情報（URL）に添付するジャンルキーワードと目的キーワードの少なくとも1つづつを入力する（ステップS15）。そして、登録内容を決定する（ステップS16）。これにより、その登録内容が検索サイト4に送信される。検索サイト4では、受信した登録内容を、検索対象の情報（既存のサイト情報）を記録しているデータベースに追加する（ステップS17）。これにより、この登録された情報が、それ以後の検索サイトでの検索対象の情報に加えられる。

#### 【0041】

図5は登録画面の表示例を示す図であり、登録画面には、情報入力エリアE4、ジャンルキーワード選択エリアE5、目的キーワード選択エリアE6、及び、入力決定を指示する入力決定ボタン（画面スイッチ）SW2が表示される。情報

入力エリアE4は、登録したい情報を入力するエリアであり、例えば販売目的や購入目的などユーザの目的に応じて利用するために登録した情報サイトのURLを入力する。

【0042】

ジャンルキーワード選択エリアE5と目的キーワード選択エリアE6の横にはダウンスイッチ（画面スイッチ）SW5a、SW6aが表示され、ダウンスイッチSW5aをクリックすると、ジャンルキーワード選択エリアE5の下に予め用意されている複数のジャンルキーワードをリスト表示したリストボックスが表示されるので、そのリストボックスから所望のジャンルキーワードを選択する。図の例では「電子楽器」というジャンルキーワードが選択されている。また、同様にダウンスイッチSW6aをクリックすると、目的キーワード選択エリアE6の下に予め用意されている複数の目的キーワードをリスト表示したリストボックスが表示されるので、そのリストボックスから所望の目的キーワードを選択する。図の例では「売りたい」という目的キーワードが選択されている。

【0043】

そして、入力決定ボタンSW2をクリックすると、情報入力エリアE4に入力されたURL、ジャンルキーワード選択エリアE5に入力されたジャンルキーワード、目的キーワード選択エリアE6に入力された目的キーワードが登録情報（新たに追加するサイト情報として決定され、検索サイト4に送信される。

【0044】

以上の各種の表示処理、検索処理、登録処理等は、マウスを用いたパソコンを対象として説明しているが、携帯電話等の携帯端末でも所定の操作に応じて、この携帯端末を対象とすることもできる。

【0045】

なお、検索サイト4において、種類キーワード（ジャンルキーワード）と行為キーワード（目的キーワード）がURLに対応されてデータベースに記憶されるが、この種類キーワードと行為キーワードをURLの一部、あるいはURLのパスネームの一部として記憶しておくようにしてもよい。

【0046】

また、種類キーワード及び行為キーワードは1つのURLに対して複数ずつ対応付けられるようにしてもよい。

## 【0047】

種類キーワード及び行為キーワードは、言葉ではなく、それぞれの単語（言葉）に相当する絵やアイコンのようなものなどで提示（表示）するようにしてもよい。

## 【0048】

また、実施形態では、ジャンル選択エリアE21、目的選択エリアE22、ジャンルキーワード選択エリア5、目的キーワード選択エリア6に対して、リストボックスからそれぞれのキーワードを選択するようにしているが、ワープロ機能等によりユーザが所望のキーワードを入力するようにしてもよい。

## 【0049】

## 【発明の効果】

本発明の請求項1または請求項2の情報検索方法によれば、容情報を示す種類キーワードと内容情報に対する行為に対応する行為キーワードとにより、この種類キーワードが示す内容情報と行為キーワードに対応する行為とに合った内容情報を有する情報サイトを検索するようにしたので、できるだけクライアント側のユーザの目的に合った情報を検索でき、使い勝手がよくなる。

## 【0050】

本発明の請求項3の情報検索方法によれば、クライアントから種類キーワードと行為キーワードを送信させることにより、請求項1と同様な作用効果が得られる。

## 【0051】

本発明の請求項4の情報検索方法によれば、クライアントから種類キーワードと行為キーワードを送信させることにより、請求項1と同様な作用効果が得られる。

## 【0052】

本発明の請求項5の情報検索方法によれば、検索サイトで種類キーワードと行為キーワードとに基づいてサイト情報を検索させることにより、請求項1と同

様な作用効果が得られる。

【 0 0 5 3 】

本発明の請求項 6 の情報検索方法によれば、請求項 1、請求項 2 及び請求項 5 と同様な作用効果が得られるとともに、種類キーワードと行為キーワードを文章として入力できるので、クライアント側のユーザは目的を表現しやすく、さらに使い勝手がよくなる。

【 0 0 5 4 】

本発明の請求項 7 の情報記憶媒体によれば、この情報記憶媒体を用いることにより、請求項 1 または請求項 2 の情報検索方法を好適に実施できる。

【図面の簡単な説明】

【図 1】 本発明の実施形態における検査画面の目的別検索エリアの表示例を示す図である。

【図 2】 本発明の実施形態における検索画面の表示例を示す図である。

【図 3】 本発明の実施形態の情報検索方法を適用するネットワークシステムの構成例を示す図である。

【図 4】 本発明の実施形態における検索時のクライアント、検索サイト及び情報サイトの処理を示す図である。

【図 5】 本発明の実施形態における登録画面の表示例を示す図である。

【図 6】 本発明の実施形態における登録処理時のクライアント側の処理と検索サイト側の処理を示す図である。

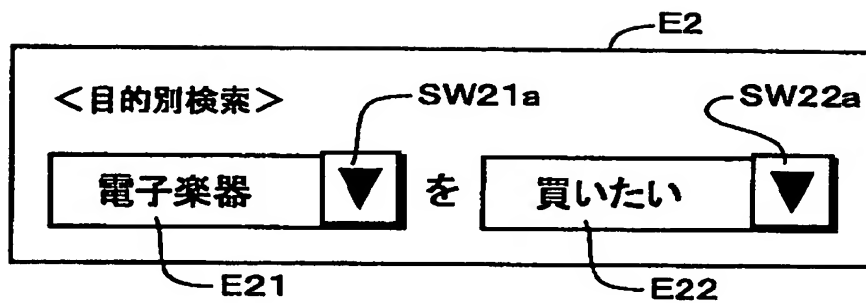
【図 7】 本発明の実施形態におけるクライアントのパソコン端末のハードウェア構成を示す図である。

【符号の説明】

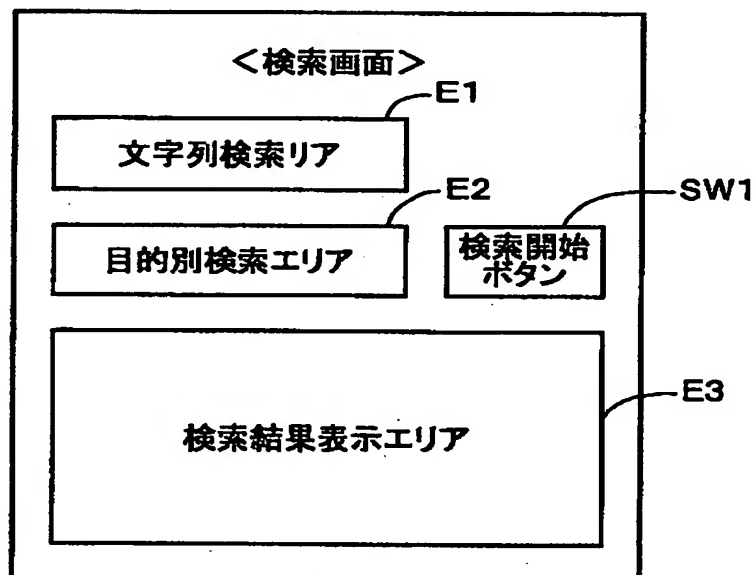
1 …通信ネットワーク、2 …クライアント、3 …情報サイト、4 …検索サイト、E 2 …目的別検索エリア、E 2 1 …ジャンル選択エリア、E 2 2 …目的選択エリア。

【書類名】 図面

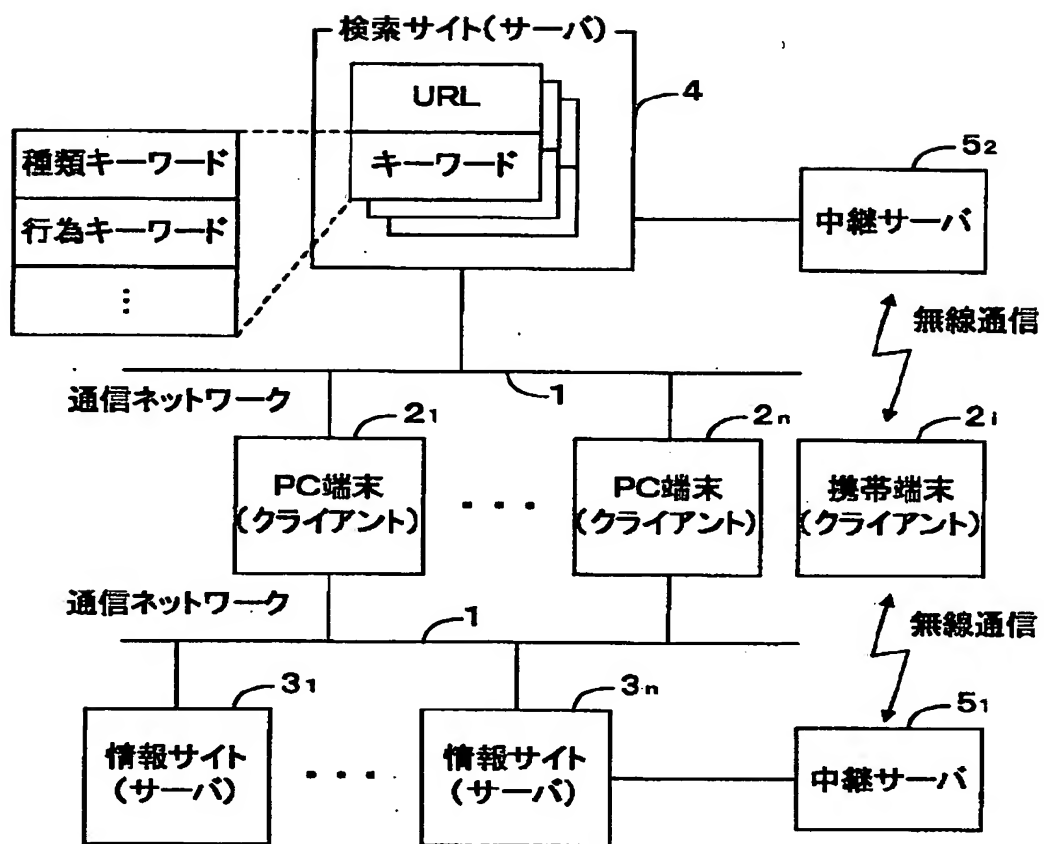
【図1】



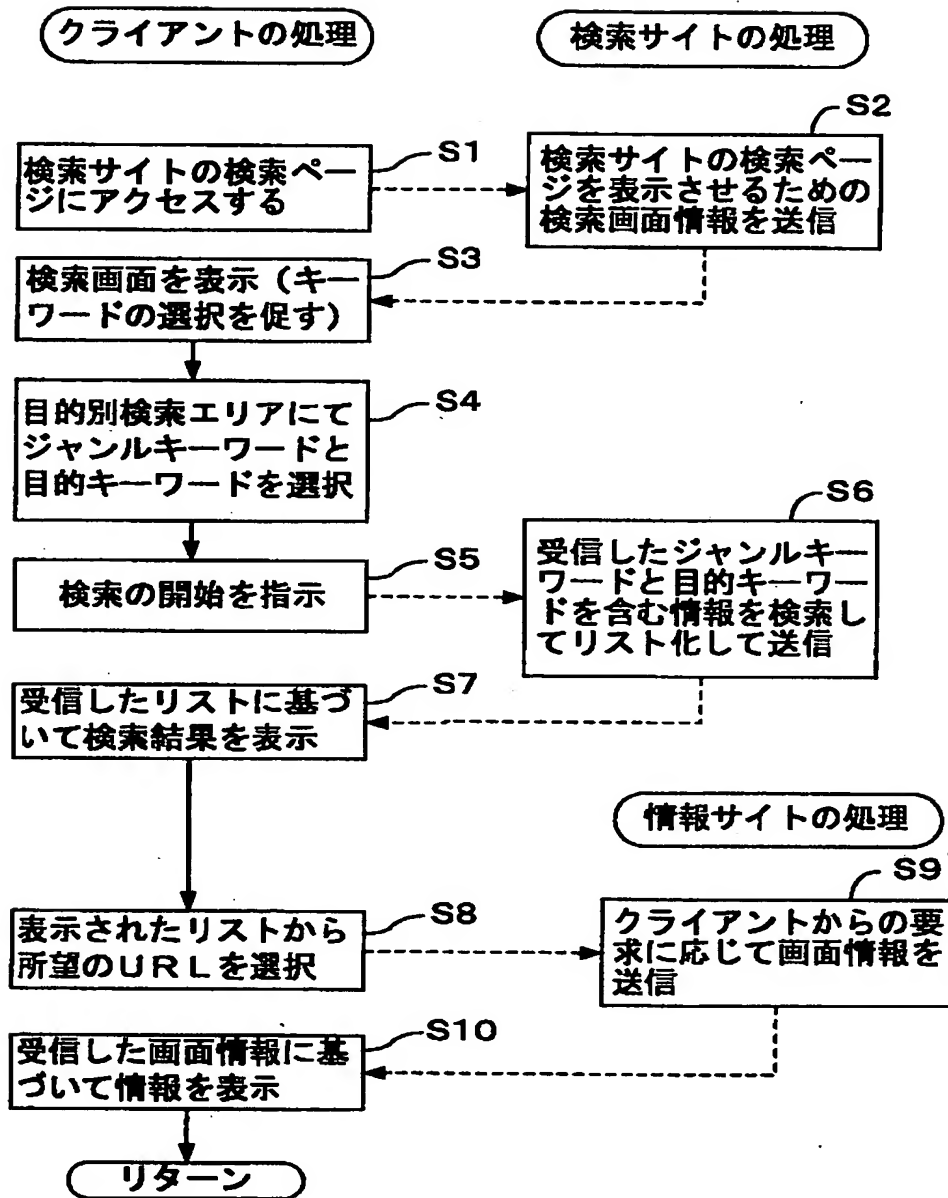
【図2】



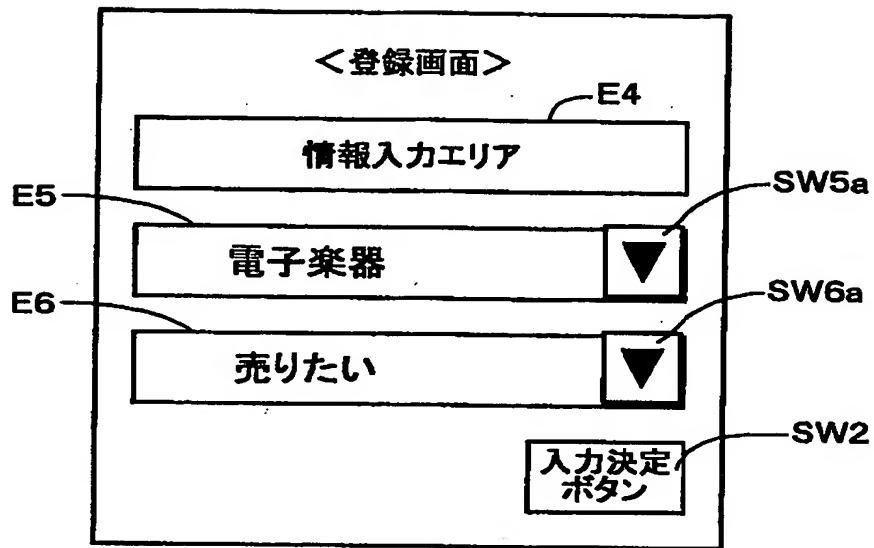
【図3】



【図 4】

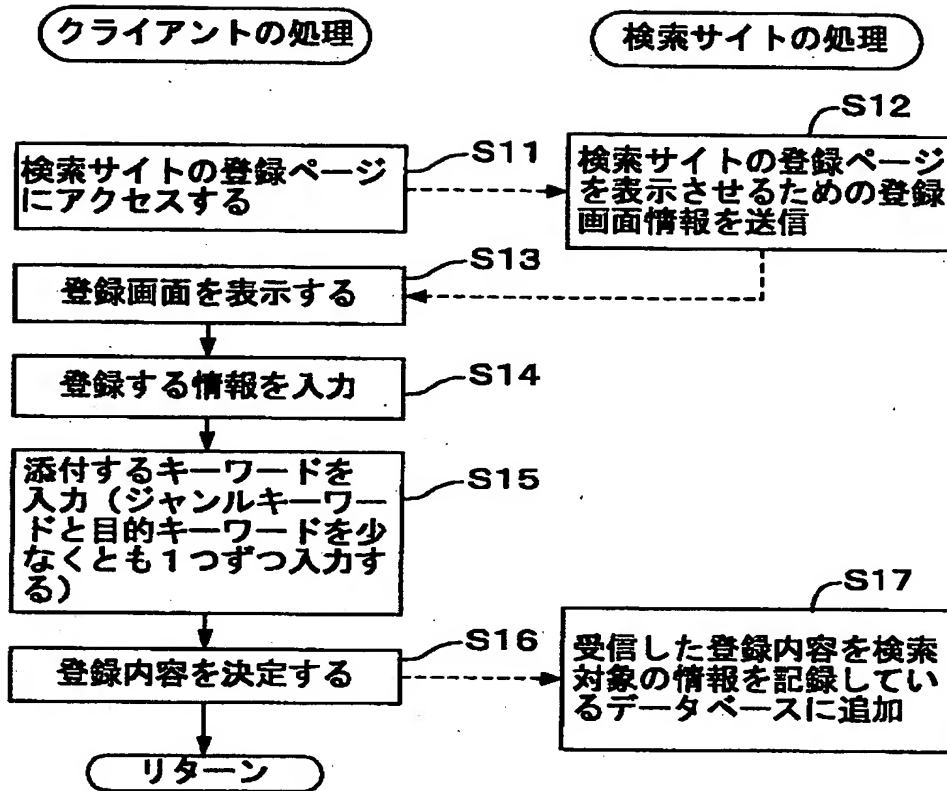


【図5】

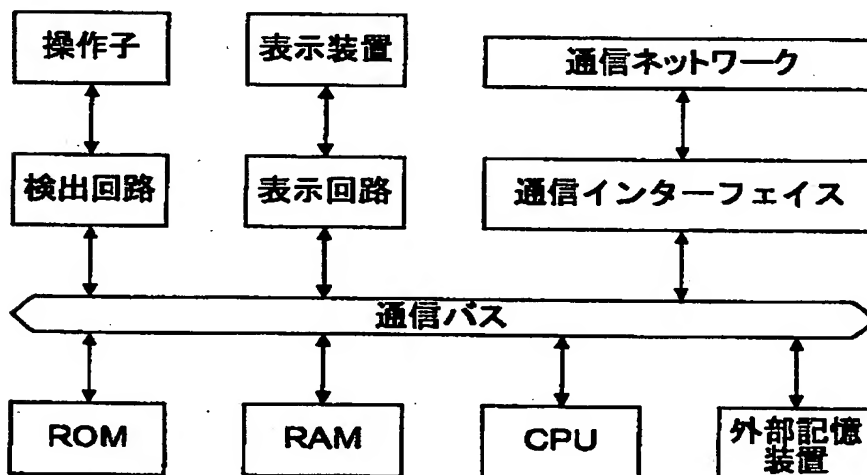




【図6】



【図7】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 インターネット等において、ユーザの目的に合った情報を有する情報サイトを検索できるようにして、使い勝手をよくする。

【解決手段】 アクセスした検索サイトから送信される画面情報により、クライアントのパソコンのディスプレイ等に検索画面を表示する。検索画面の目的別検索エリアE2にジャンル選択エリアE21と目的選択エリアE22を表示する。ジャンル選択エリアE21に、ユーザが所望の容情報を示すジャンルキーワード（種類キーワード）を入力する。目的選択エリアE22に、内容情報に対する行為に対応する目的キーワード（行為キーワード）を入力する。ジャンルキーワードと目的キーワードを検索サイトに送信する。検索サイトで、ジャンルキーワードと目的キーワードに合った内容情報を有する情報サイトを検索する。検索した情報サイトのURLをクライアントに送信してリスト表示する。

【選択図】 図1

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [000004075]

1. 変更年月日	1990年 8月22日
[変更理由]	新規登録
住 所	静岡県浜松市中沢町10番1号
氏 名	ヤマハ株式会社